

草の根パートナー型  
2015 年度第 2 回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	カンボジア王国
2. 事業名	カンボジア地雷埋設地域の脆弱な障害者家族への生計向上支援事業
3. 事業の背景と必要性	カンボジアでは、国の経済発展とともに格差が拡大している。内戦中に埋設された地雷原のあるバタンバン州のタイ国境の農村地域では、地雷被害者を含めた障害者家族が、これまで収入源となっていた換金作物のキャッサバの買取価格の下落により、多額の借金を返済できずに特に脆弱な状況にさらされている。カンボジア政府も開発目標で極度の貧困と飢餓の撲滅を掲げているが、農村に住む脆弱な障害者とその家族への生計向上に有効な施策を打ち出せていない状況にあり、本事業が必要とされている。
4. プロジェクト目標	カムリエン郡の障害者とその家族の生計向上
5. 対象地域	カンボジア王国バタンバン州カムリエン郡
6. 受益者層（人数規模）	地雷被害者を含む紛争被害者などの障害者とその家族 約 100 世帯
7. 活動及び期待されるアウトプット	<p>&lt;アウトプット&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. セクター間の連携による障害者への支援体制が構築される。</li> <li>2. カムリエン郡の障害者とその家族が、外部環境のリスクを理解し、生計向上のための計画を作成できる知識、能力、技術が確保される。</li> <li>3. 野菜の自給増等によりカムリエン郡の障害者とその家族の出費の大部分を占める食費が削減される。</li> <li>4. カムリエン郡の障害者とその家族に複数の収入源と家畜資産が確保される。</li> </ol> <p>&lt;活動&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1-1. CRDNASE と農林局のスタッフとともに障害者支援の打ち合わせをする。</li> <li>1-2. CRDNASE にデータベースの管理技術を移転し、社会問題・退役軍人・青年更生局と障害者のデータベースを共有する体制を構築する。</li> <li>1-3. CRDNASE と農林局のスタッフをタイのチャンタブリ県農業職業開発支援センターに派遣し、ハリナシミツバチの養蜂技術訓練研修を実施し、エコモデルファームでの実技訓練と飼育繁殖を実施する。</li> <li>1-4. 農林局スタッフと社会問題・退役軍人・青年更生局がモニタリング調査と一緒に参加し、農業技術が農村に住む障害者への支援が有用であることを理解する。</li> <li>2-1. お金と収支バランスに関するワークショップを実施する。</li> <li>2-2. グローバル市場経済化とそのリスクに関するワークショップを実施する。</li> <li>2-3. 各カムリエン郡の障害者とその家族の生計向上計画を作成する。</li> <li>3-1. 雨水による水源を確保するためのため池掘削、もしくは水瓶の購入を支援する。</li> <li>3-2. 自然資源を利用した土壌改良方法の訓練を含む作物の栽培技術の基礎訓練を実施する。</li> <li>3-3. 毎月 2 種類ずつの野菜の栽培技術訓練を実施する。</li> <li>3-4. 野菜の種の自家採種の方法の訓練を実施する。</li> <li>4-1. 牛銀行設立と養牛技術訓練を実施する。</li> <li>4-2. やぎ銀行設立とやぎ飼育訓練を実施する。</li> <li>4-3. 鶏銀行設立と養鶏技術訓練を実施する。</li> <li>4-4. ハリナシミツバチの養蜂と蜂蜜販売技術訓練を実施する。</li> </ol>
8. 実施期間	2017 年 4 月～2021 年 3 月（3 年 11 カ月）
9. 事業費概算額	74,238 千円
10. 事業の実施体制	特定非営利活動法人テラ・ルネッサンス、カンボジア現地 NGO Community Rural Development of Natural Agriculture for Supporting Environment (CRDNASE)、バタンバン州農林水産局、バタンバン州社会問題・退役軍人・青年更生局 社会福祉課
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人テラ・ルネッサンス
2. 対象国との関係、協力実績	2001 年よりカンボジアの地雷問題への取り組み開始。地雷撤去や義肢装具士の育成、地雷被害者の支援などを実施。 2006 年からカンボジア政府外務省との覚書を締結。 その他、地雷埋設地域での学校建設などで、カンボジア政府教育省とも連携して事業を実施。